

1 国語に関する調査

【特長】

- 必要なことを整理しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることはよくできている。立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめるなどの指導を充実させてきた成果と考える。
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることはよくできている。

【課題】

- 複数の資料を読んで理解したことを関連付けながら、自分の考えをまとめることに課題がある。
- 図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。教員が必要に応じて図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示することで、図表やグラフを用いると、自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できる文章になることを実感できるように指導することが必要である。

2 算数に関する調査

【特長】

- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることがよくできている。
- 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて求め方と答えを記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することができている。日頃から場面を解釈して数量の関係を捉え、問題の解決方法を式や言葉、図を用いて説明できるように指導する授業実践を重ねてきた成果といえる。

【課題】

- 台形の意味や性質について理解することに課題がある。図形の性質についての整理ができるよう、復習の機会を多くとり、図形の意味の理解を図るようにする。
- 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることに課題がある。復習や日常生活での活用を意識し語彙を使用するとともに、「以上」の意味を確実に理解できるように他の教科や生活の中で正しく使用することを意識させ、正しい使い方を実感できるように指導する。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 多くの児童が「自分にはよいところがある」「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「先生は自分のよいところを認めてくれている」「授業やテストで間違えたところや、理解していないところについてわかるまで教えてくれている」と答えている。
- 多くの児童が「人が困っているときは、すすんで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と答えている。他の人を思いやる心が育まれていると考える。

【課題】

- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と思う児童の割合が低い。自主学習の進め方等の支援が必要だと考える。
- 「読書は好き」と思う児童の割合が低い。調べ学習等で学校図書館を活用したり、図書の貸し出しを促したりする等、読書に親しむ機会を積極的に設ける必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 学校研究で掲げている「自ら考え表現する力」を育てるため、児童がより興味関心を示す課題や学習の「めあて」を明確に提示し、「振り返り」を確実に行えるようにする。
- 課題提出、発表資料作成、調べ学習、意見交流等授業の様々な場面において、より学習効果を高められるよう工夫しながら ICT 機器を活用していく。
- 宿題に加え、自分で計画的に予習や復習、授業で興味を持ったことをすすんで調べること等ができるように自主学習の進め方を提示し、学習習慣の定着を図る。
- すべての児童が、学級の中でお互いを認め合い、励まし合いながら安心して過ごせる温かい雰囲気醸成し、失敗を恐れず何事にも挑戦できるよう支援していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 自分で計画を立てて学習に取り組めるよう学校でも支援をしていきます。家庭学習の習慣が定着するよう、ご協力をお願いします。
- 児童が本に触れる機会を少しでも増やせるよう、学校では国語を中心に読書活動に取り組んでいます。ご家庭でも読書に親しむための働きかけをお願いします。
- 児童は地域の皆様に支えられ育まれています。今後も地域とふれあう機会を大切にしていきます。よろしくお願いします。